

講座実施報告（FIC 会員向け）

講座名	自然ウォッチング 2 月「めざせ、火使いの達人Ⅲ」		
開催日時	2025 年 2 月 16 日（日）10 時 ～12 時		
開催場所	千葉県立船橋県民の森（船橋市）	参加者	21 名

①活動概要（FIC 会員向けであることを意識して作成をお願いします）

- ・導入：火と人間との関係、燃焼の仕組み（燃焼の3要素「もえるもの」「酸素」「高い熱」
- ・火口（ほぐち）作り φ8mmの麻紐を 15cmに切りほぐす、
この2本分を1回分にした
- ・マッチとファイヤースタータの説明、その後デモンストレーションを見せた後体験
マッチでは、火は上に行く性質を説明して、マッチの持ち方の話をした
ファイヤースターターは、火打ち石と火打ち金の発火法と同じ原理
- ・ひもぎり式発火法の説明、その後デモンストレーションを見せた後体験
木と木の摩擦熱で火種を作る。
火種を火口で包んでその端をしっかりとングでつまんで、激しく左右に振る。
- ・ウイナーねじパン作り、焼き、食べる
- ・時間にゆとりがあったので、希望者には舞いぎり式を体験してもらった。
- ・まとめ：感想を全員に聞く。火起こしは大人と一緒にやるようにと注意

②珍しい動植物、珍しい生態（写真があれば紹介）

特になし

③講座内容、運営で良かった点、今後にお勧めしたい点

- ・「食」が人を引き付ける力は、とても強い！！
- ・下見の時の反省点をよく生かすことができた。（火口の量を2倍にすることにより、火口の発火効率が上がり、安全性も高まった）

④講座内容、運営で反省する点、今後はお勧めできない点

- ・導入の準備にもっと時間をかけるとよかった。
- ・デモンストレーションの時に、燃焼の3要素を入れながら説明をするとよかった。
- ・火口は麻紐をほぐしたのを使ったが、自然から得られる材料（ガマの穂、ススキの枯れた花、ゼンマイの綿毛など）を見せて話をすればよかった。また同じように、火きり棒の先端にセイタカアワダチソウの茎を使ったが、アジサイやウツギの枝もを見せて話をすればよかった。
- ・体験なので資料等を作らなかったが、次回は資料を作成して参加者に配りたい。

⑤ヒヤリハット（担当理事と確認後、特になければナシと記載）

- ・なし

（FIC 参加者）

チーフ講師：羽根 敏子

アシスタント：相田 義則、植村 敦子、金井 康郎、齋藤 歩、椎名 明子、
高橋 美由紀、三輪 奈々枝、森田 正樹、山浦 信介

（作成：羽根 敏子）